

# 2010年度 入試問題分析シート

名古屋大学

前期日程

科目	数学(文系)
----	--------

## 総括

試験時間	90分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	情報(社会) 400点, 教育 600点, 文・法 200点, 経済 500点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

### <総論>

文系としては難しい。計算力も柔軟さも必要である。

### <特記事項・トピックス>

昨年から選択問題はない。

### <合格への学習対策>

確率と漸化式が偏愛されているので対策しておくこと。1問の配点が高いので苦手分野のないように万遍なく学習しておくことが大切。

## 設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
1	記述	, A, B	座標・平面図形	長方形のもつ平面図形としての性質を利用して上手に解かないとやっかいなことになる。	やや難
2	記述	,	半直線と直線、 3次関数のグラフとの交点	$f(x)$ の形に少しおどろく。3次関数は具体的な形が分かるので、理解が進むと易しい。	標準
3	記述	, B	確率と漸化式	確率の問題と漸化式の融合は名大では頻出。(3)は帰納法を用いて証明する。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。